

支える側が 支えられるとき

～認知症の母が
教えてくれたこと～

とき：平成28年 8 月 5 日（金） 午後 2 時～4 時

ばしょ：ひと・まち交流館京都 2階 大会議室
（京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町 83-1）

講演：藤川 幸之助 氏

- 詩人・児童文学作家。小学校の教師を経て、現在は認知症の母親の介護の経験をもとに、命や認知症を題材にした作品を作り続けている。
- 著作『徘徊と笑うなかれ』（中央法規）、ポストカード詩集『命が命を生かす瞬間』（東本願寺出版）等、多数。

NHK「ハートネット」出演（2015年5月13日放映）



読売新聞社提供

20年以上にわたる認知症の母親の介護生活の中で、介護者である藤川さんと、介護される側のお母さんとの一旦は失われかけた関係を、どのように回復し、支える側（介護者）が支えられるという関係になっていったのか、お話をうかがいます。

扉

藤川幸之助

無料
要申込

認知症の母を
老人ホームに入れた。
静かに座って私を見つめる母が
涙の向こう側にぼんやり見えた。
私が帰ろうとすると
何も分かるはずもない母が
私の手をぎゅつとつかんだ。
そしてどこまでもどこまでも
私の後をついてきた。
*
私がホームから帰ってしまおうと
私が出た重いつつ扉の前に
母はびつたりとくっついて
ずっとその扉を見つめているんだ
と聞いた。
それでも
母を老人ホームに入れたまま
私は帰る。
母にとつては重い重い扉を
私はひよいと開けて
また今日も帰る。
『満月の夜、母を施設に置いて』（中央法規）

【主催・申込・問合せ】

京都市長寿すこやかセンター（運営 社会福祉法人京都市社会福祉協議会）

電話 075(354)8741 ファックス 075(354)8742

〒600-8127 京都市下京区西木屋町通上ノ口上ル梅湊町 83-1「ひと・まち交流館京都」4階

7月1日（金）より電話・FAXにて申込受付開始